



IIAE大気環境総合センター特別セミナー 「未知のPM発生源」 ～凝縮性粒子とその大気環境影響～

安全で豊かな地球を未来へ！

現在、地球温暖化・気候変動、コロナ禍、森林破壊、植生の生育環境変異、昆虫の異常など、地球上では様々な変異・災害が起きています。

産業革命から二百年以上の間、燃焼などによって、様々な物質が大気中に放出され続けてきました。国内では約50年前に制定された大気汚染防止法により、粒子状物質に関しては「ばいじん」として排出規制がはじまり、監視されているところです。近年は、ばいじんの国内排出量は減少傾向にありますが、未規制である「凝縮性粒子」が、一次排出粒子として直接的に、あるいは二次生成粒子の前駆物質として間接的に、大気中のPM2.5等の粒子状物質へ寄与していることが疑われており、さらなるPMの低減対策のためには、まずは凝縮性粒子の排出実態を明らかにすることが必要です。

この度、いくつかの環境省推進費で実施された研究によって、凝縮性粒子の排出実態とその環境へのインパクトの一端が明らかになりましたので、その成果を共有するとともに、さらなる展開について皆様と議論する機会にしたいと思います。

日 時：2021年4月14日（水） 13：15-16：00（12：45～受付開始）

場 所：Zoomによるオンライン開催

プログラム：

- | | | |
|-------------|--------------------------------|----------------------------|
| 13：15～13：20 | 開会ご挨拶 | 若松伸司（愛媛大学名誉教授） |
| 13：20～13：50 | 基調講演 大気粒子状物質の特徴とその環境影響 | 坂本和彦（埼玉大学名誉教授） |
| 13：50～14：15 | 煙道排ガス測定の現状と課題 | 高橋克行（日本環境衛生センター） |
| 14：15～14：40 | 燃焼発生源から排出される有機物質を対象とした揮発性分布の測定 | 藤谷雄二（国立環境研究所） |
| 14：40～14：50 | ～休憩～ | |
| 14：50～15：15 | 固定燃焼発生源からのPM排出量推計と凝縮性粒子の考慮 | 茶谷 聡（国立環境研究所） |
| 15：15～15：40 | 揮発性を考慮した有機エアロゾルの数値モデリング | 森野 悠（国立環境研究所） |
| 15：40～16：00 | 総合討論 | コメンテーター 小林伸治（大気環境総合センター理事） |

参加費：一般 3000円、セミナー会員 1000円、賛助会員 無料

要事前登録
4月12日（月）
締切

下記サイトから事前登録をお願いします。
登録された方には後日ZoomのURLをお知らせします。

https://iiae.or.jp/seminarlist/special_seminar/

問合せ：IIAE大気環境総合センター 事務局

TEL 03-6801-6082 Mail: info@iiae.or.jp

